

(α -ジイミン)配位子を有するニオブ錯体を触媒とした ラジカル反応



目で見る
海外論文発表

西山 悠*

Radical addition and hydrodehalogenation reactions catalyzed
by niobium and tantalum complexes bearing α -diimine ligand

Key Words : organometallics, catalyst, niobium, radical,
redox-active ligand

<参加会議名>

27th International Conference on Organometallic
Chemistry 2016

<開催場所> Melbourne, Australia

<渡航期間> 2016年7月17日ー2016年7月22日

<発表タイトル>

Radical addition and hydrodehalogenation
reactions catalyzed by niobium and tantalum
complexes bearing α -diimine ligand

7月17日～22日の6日間、オーストラリアのメルボルンで開催された27th International Conference on Organometallic Chemistry 2016 (ICOMC) の国際学会に参加してきました。本学会は今回で27回目の開催であり、現在では有機金属化学における世界最高峰の学会の1つと位置づけられています。ICOMC 2016はメルボルンコンベンションセンターで行われ、17日のレセプションから始まり、5日間、朝8時半頃から夕方6時頃まで5つの会場を用いて様々な分野のセッションが同時進行で行われていました。さらに、夜にはポスターセッションも開催されました。

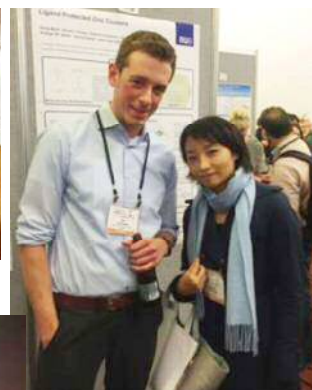
私は、今回ポスターセッションで自身の最近の研究を発表するとともにショートプレゼンテーションにて研究概要を口頭で発表してきました。ポスター

セッションでは、本分野での著名な教授方が発表を聴きにきてくださいました。1対1で話をすることで研究の細かい部分に関してまでアドバイスをして頂いたり、その教授の研究に関する細かい話を教えて頂いたりして、有意義な時間が過ごせたと同時に今後の研究に対するモチベーションを向上させることができました。また、学会を通して同世代の海外の学生とも話す機会があり、国際交流が出来た点もとても刺激になりました。

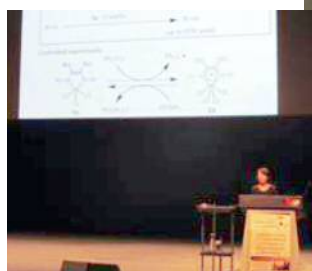
最後になりますが、海外論文発表奨励賞を頂き、渡航費の援助をしてくださいましたことに、心より感謝申し上げます。



学会のバナー



海外の学生との交流

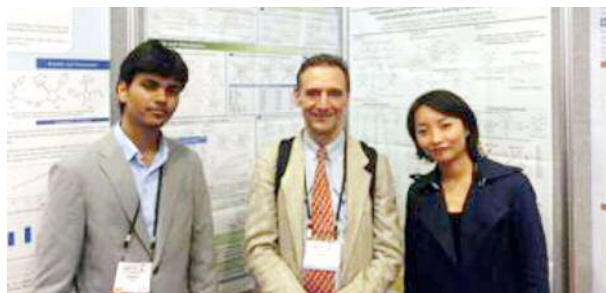


ショートプレゼンテーションの様子



* Haruka NISHIYAMA

1988年10月生
大阪大学大学院 基礎工学研究科 物質
創生専攻 (2014年)
現在、大阪大学大学院 基礎工学研究科
物質創生専攻 真島研究室 博士後期課
程3年 工学修士 有機金属化学
TEL : 06-6850-6248
FAX : 06-6850-6249
E-mail : nishiyama@organomet.chem.es.
chem.osaka-u.ac.jp



ポスターセッションの様子